

伊賀市美術博物館について

三重県伊賀市企画振興部

美術博物館建設準備室

1. 伊賀市の課題

松尾芭蕉翁の生誕地である伊賀市には、翁を顕彰する施設として『芭蕉翁記念館』があり、翁の真蹟をはじめ近世から現代に至る連歌俳諧に関する資料などが数多く保存されており、展示室ではこれらの資料を展示しています。

しかし、1959（昭和 34）年に建設されてから 60 年以上が経過しているため、施設の老朽化により、資料保存、展示機能などの諸課題が表面化してきています。

また、伊賀市は指定文化財数が県内最多であるとともに、多数の古文書等や発掘調査で出土した考古遺物を所蔵しており、全国に誇る歴史・文化の文物があります。さらに、伊賀市出身の作家の作品など、多くの美術作品が市に寄贈されています。

しかし、伊賀市には、歴史・文化、芸術に関する資料を適切に保存・管理するとともに、市民や来訪者がその価値を知るための博物館や美術館といった施設がないことが、大きな課題となっています。

2. これまでの検討の経緯

新しい芭蕉翁記念館について、過去より幾度かにわたり建設の議論が行われてきましたが、同時期に庁舎移転や旧上野市庁舎・上野図書館の整備計画が議論されていたことから、それらの検討結果を待つこととなりました。

1994（平成 6）年	新記念館建設の議論が開始
2008（平成 20）年	新記念館の基本構想策定
2009（平成 21）年	基本計画策定 伊賀市の文化創造拠点や市域活性化拠点として位置づけ、 立地場所を「市立桃青中学校跡地」とした。
2013（平成 25）年	改めて検討を開始 上野図書館の建物を活用し整備する事業計画を策定

美術館については、過去に民意が示されましたが、建設に至ってはいません。

2006（平成 18）年
○美術館建設を推進する会が、約 9,200 人の市民の署名を添えて、市へ美術館建設を求める陳情書を提出。
○6月議会において、市議会に美術館建設を求める請願が提出され、採択された。

2014（平成 26）年
○美術館建設を求める会が、市へ美術館建設を求める要望書を提出。

3. 伊賀市美術博物館の整備

博物館法では、「博物館」は、資料・情報を集め、保存・研究し、公開しながら、未来の世代に伝えていくとともに、展示や教育普及活動などを通じて、地域や市民との交流により文化創造の拠点となるという役割があるとしています。

先述した俳諧、歴史・文化、芸術に関する資料は、先人のたゆまぬ努力により大切に守り、今を生きる私達に伝えていただいた「伊賀の宝物」です。

これを、私たちとしてもしっかりと守り、そして次の世代に引き継いでいくための施設が必要と考え、さらには、その資料を活用し、未来を担う子ども達にご覧いただくことで、豊かな感性を育て、文化を大切にする心を育んでもらうことのできるようにと、美術博物館を建設することとしました。

その検討を進めるため、「伊賀市美術博物館建設準備委員会」を設置し、学識経験者や市内公共的団体を代表する者、市民の公募委員などにより、施設設備の内容や規模、設置場所などについて専門的かつ広範な見地からご意見をいただきながら具体化していくこととしています。

伊賀市美術博物館建設準備委員会委員（案）

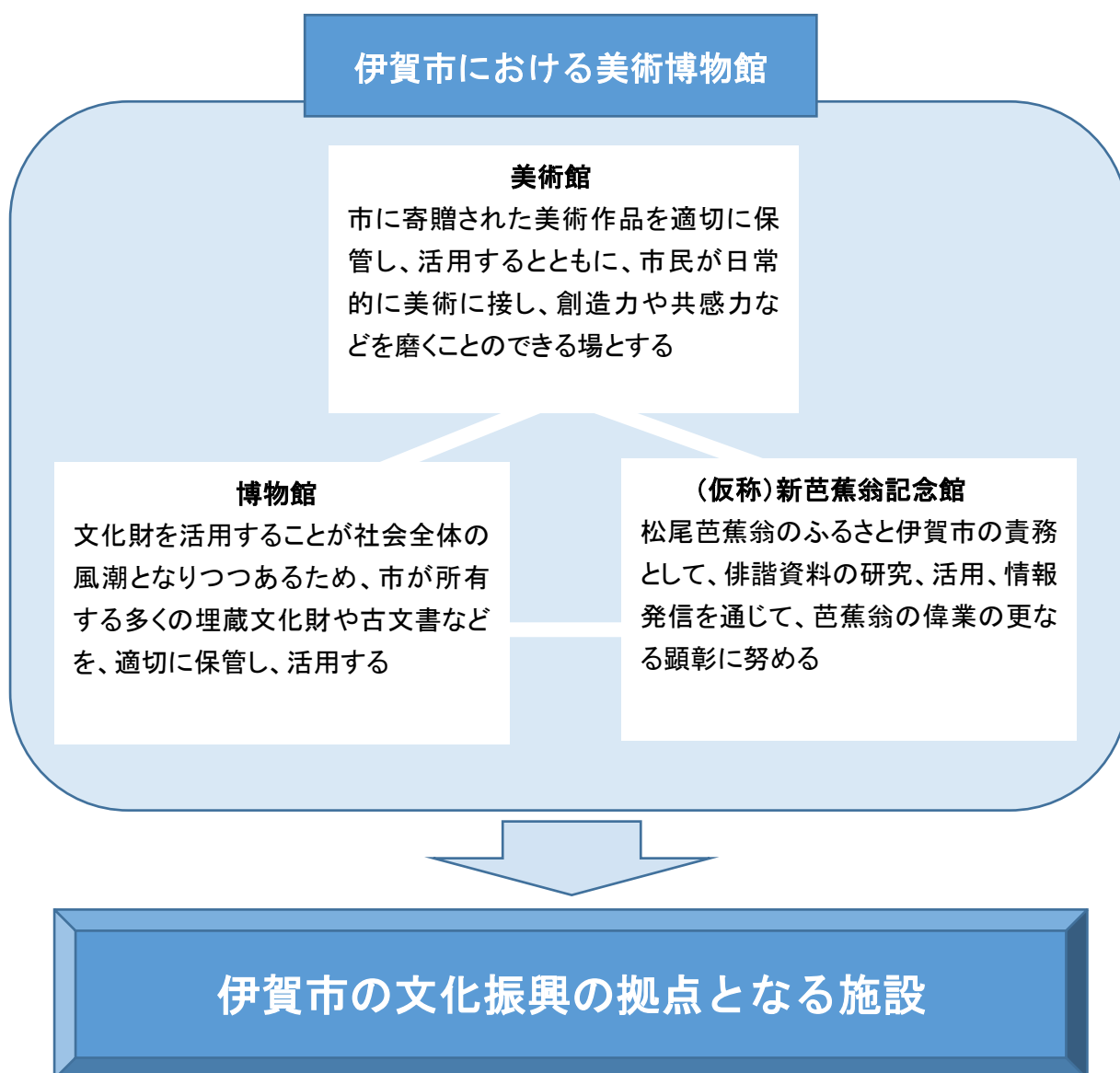
（敬称略）

区 分	選出団体等	氏 名
学識経験を有する者	関西大学名誉教授	藤田 真一
学識経験を有する者	大手前大学准教授	辻村 尚子
学識経験を有する者	同志社大学教授	井上 一稔
学識経験を有する者	三重県埋蔵文化財センター所長	穂積 裕昌
学識経験を有する者	三重県総合博物館主査	福田 良彦
学識経験を有する者	名古屋経済大学特別教授	四辻 秀紀
学識経験を有する者	大阪中之島美術館館長	菅谷 富夫
芭蕉翁顕彰団体を代表する者	公益財団法人芭蕉翁顕彰会事務局長	植田 美由喜
公共的団体を代表する者	公益財団法人伊賀市文化都市協合理事長	中村 忠明
公共的団体を代表する者	一般社団法人伊賀上野観光協会副会長	長谷 康弘
市民からの公募による者		笹山 忠臣
市民からの公募による者		辻本 恭子
市民からの公募による者		友田 律子

◆伊賀市における美術博物館のイメージ

2019（令和元）年度に策定した「伊賀市文化振興ビジョン」では、基本方針として「誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出」や、「施設の整備・有効活用により文化芸術環境を整える」ことを掲げています。

これを具体化するために、市が所蔵する美術作品、文化財、芭蕉翁等俳諧関係資料を適切に保管するとともに、収集、研究、公開、継承するための美術館、博物館、芭蕉翁記念館の機能を持つ美術博物館を整備します。



☆ホンモノに触れ、五感で感じることで、感性や心の豊かさを育む